

「訪日見聞」

承德民族師專付属中学初中一年 閻睿

2010年の夏休みはこれまでの夏休みとは異なる運命にありました。というのは小さいころから行きたかったところ、祖国と海を隔てた東海の小島……日本に行ったのです。

第一日目飛行機の上で、スチュワデスの皆さんが礼儀正しいのに気づきました。私は食べるのがどちらかといえば遅い方ですが、日本人は食べるのが早くて、周りの人が食べ終わっているのに私の前の食事はまだ残っていましたが、スチュワデスは私の気持ちを読みとおたようににこにこしながら別のところに行きました。その後たっぷり時間をかけて食べ終わると、最後に私のお盆を下げてくれました。

飛行機から降りると成田空港の看板に一家族と大きな犬の絵があり、上のほうにさまざまな国の言葉で「ようこそ日本へ」と書かれているのに気づきました。見慣れた中国語を見つけた時身近な感じを受けました。廊下を通り抜けるとそこでは大変多くの人が待っていました。手には「承德」と書かれた黄色の小旗をもち私たちを見つけるとみんな熱く出迎え近づいてこられました。

ターミナルの外は空調がなかったので外に出ると大変蒸し暑く感じましたがバスがすでにそこで待っていました。乗車するとまた涼しくなりましたが心は温かく感じました。バスの上でお互いに紹介し合い楽しい一路楽でした。したがって本来長い道のりも耐え難いとは思いませんでした。

柏市に着いたとき、ホストファミリーの方々はずいぶん長い間待っていてくださったことを知りましたが皆さんは大変元気でした。簡単に二言三言話があった後時間も遅かったのでそれぞれホストファミリーの方について家に帰りました。私が住む家の叔母さんと二人のお姉さんと私は話し始めました。幸いなことにみんなアニメが好きでした。しかしアニメの日本名と翻訳された中国語名が同じでなかったので、お互いに相手が何のことを言っているのかわからい場面にたびたび遭遇はしましたが……。

二日目叔母さんは私の希望を聞いてパンとコーヒーを用意してくれました。至れり尽せりのおもてなしに大変感謝いたします。

午後私たちは北千葉導水センターに行き、かつて大変汚かった川が現在のようにきれいになったのを見ました、ただただ日本人の汚水処理技術の高さに感服しました。その後市立柏高校のブラスバンドの演奏を見ましたが、私たちを歓迎するために中国国歌を歌い始めました、その時の私は言葉で表せないほどの誇りを感じました。この日の活動も終わりかけたころホストファミリーの AKANE [茜] 姉さんが迎えに来られその後柏祭りに行きみんなが輪になって柏踊りをしているのを見ました。イチゴアイスクリームとチョコレートバナナを食べました。チョコレートバナナはアニメでよく出てくるかの有名な食べ物だったのです。

3日目浅草に行きあの提灯を見ました、なんて大きいのだろう——日本人も仏教を信仰するが観音堂も見ました——午後まずお台場に行きましたが人影はまばらでした、ズックを穿いていたので水

の中には入らずじまいでした・・・秋葉原に向かう前に壮大なものを二つ見ました、一つはウィンドウいっぱいの“ナルトの火影”二つ目は“自由の女神”です。それからついに本当についにアニメの殿堂秋葉原に着きました。ポケモン、EVA、ハヤテ、〇〇家庭教師…など、ひょっとしたらここそ今回の旅で一番気に入った場所かもしれません。

4日目柏市役所を訪問お互いに打ち解けた関係でした。それから東大柏キャンパスに行きました。何を話しているのかさっぱりわかりませんでした…、午後は茶道見学でそこでは女性の方々がみな和服すがたで、正座し、すべて規則正しい振る舞いでした。お菓子も精緻にできていました。ただお茶はとても苦くて…。

5日目ディズニーランド行きましたがとても広くて、その分人も大変多く、一日で7つの催しを見ただけでした。しかし驚いたのはこんなに人が多いのに遊園地の地上に塵ひとつないことでした。このことから判断しても環境保護意識の高さが見て取れました。

時間のたつのは早いものであつという間に別れの日がやってきました。別れはつらいと心の中で自分に言い聞かせたが、海の向こうに私の国があり、家族がおり、友達もそこにいる、だから_____、“また必ず帰ってくる”とひそかに誓いました。その後顔をそらして自分の目から流れ出る…を人に見られないように努めました。

こんなに楽しい数日を過ごさせてくださりましてありがとうございます。永遠に皆様のことを忘れませんとお約束いたします。

感想：

日本には感心することがたくさんあります、街角には塵ひとつないのを見ては自分の国のことを考えます。見たところ発達した国と発達途上の国の区別がはっきりしています。素質こそ大切に国民の素質が高まらないでGDPが世界一なったとしても無駄です。日本の接客係は十分に礼儀正しくいつも敬語を使いますが、我が国の小さい商店だけでなくスーパーマーケットの店員さえはるかに及びません。中国にも礼儀正しい人がいないわけではありませんが、取り合おうが取り合わなかりょうが一切関係なしで、はなはだしきは、お互い汚い言葉を使ったりします。日本人は規則も大変遵守します：日本の道は狭いので片道一車線のところもありますが、ラッシュアワーの時でさえ、一方方向が混んでいても急ぐために反対車線を走る車はありません。エスカレーターに乗る時も自ら左により、急いでいる人が早く通れるように開けています。ある国が先進国といえるか否かはその国の国民の資質の高低を見なければなりません。周りの人たちが日本人のように規則を守り常に温かく人に接しているそういった日がいつか中国にも来ることを期待しています。